

みんなで育てる 東京の道 東京ふれあいロード・プログラム

参加団体訪問-3 アークガーデニングクラブの巻

環境に対する意識は年々高まり、道路空間にもうおいと安らぎが求められています。私ども公社では、地域住民の皆様のボランティアによる快適な道路環境づくりを目指す東京都の「東京ふれあいロード・プログラム」に協力しています。

このプログラムは、道路の清掃や植栽の手入れなどの道路美化活動を、地域住民の力や地元自治体、企業団体と東京都が協力しあって進めていくプログラムです。現在、この「東京ふれあいロード・プログラム」に参加して下さっている団体は45団体です。公社は、活動資金の一部助成や看板等の設置を通じ、このプログラムに参加する団体を支援しています。

このコーナーでは「東京ふれあいロード・プログラム」の参加団体の活動を紹介していきます。今号は、森ビル株が管理運営するアークガーデニングクラブを訪問いたしました。



「バレットガーデン」と呼ばれている庭は、六本木通り沿いの歩道に設置されている。四季折々の花たちが行き交う人々を楽しませてくれ、自転車やバイクの違法駐輪防止にも役立っています。



アークヒルズの象徴となっているアーク・カラヤン広場。散歩や憩いの空間として地域住民に利用されています。園芸家の杉井明美さんの指導のもとに、緑の専任スタッフがほぼ毎日、アークガーデンの管理をしています。

アークガーデンはアークヒルズにつくられた7つの庭の総称です。

大都会で草花と触れあえる
貴重な空間。
観察された野鳥は、
なんと13種類！



月に2~3回の活動には、園芸歴・30年、40年というセミプロから、ガーデニング初心者までが参加。アークガーデンの7つの庭をめぐりながら、花の手入れや掃除などを行っています。



『ローズフェスティバル2006開催』2006年5月26日(金)~27日(土)
200種のパラの名花とアーク・カラヤン広場で出会えます。
5月19日~31日までは、ローズテラスも設置し、夜はライトアップを楽しめます。

四季の緑に囲まれて暮らせる街づくりをしたい!! アークガーデニングクラブはそんな思いから生まれました。

アークヒルズは今年で完成から20周年を迎えます。完成した時に、4万2千本もの木が植えられたという記録が残っていますから、当時から緑や環境を強く意識した街だったと思います。アークガーデニングクラブは1996年に、アークヒルズがさらに住みやすい街になるために、緑や花を核にしたコミュニティを作っていく、という発想のもとに誕生しました。

現在、アークガーデニングクラブは「ふれあいロード・プログラム」に参加して、六本木通り沿いの歩道の手入れをしています。クラブ発足当初は、都道ということで、私どもが手入れをすることができず、自転車やバイクの違法駐輪にも悩まされ、

とても危険な状態でした。その後、地域住民の方からの要望もあり、歩道をきれいにするための話し合いを進めていく中で、住民参加ができるアークガーデニングクラブが管理をするということになりました。私たちのクラブが花壇を作ろうとしていた2001年の翌年には、「ふれあいロード・プログラム」がスタートして、一番最初の参加団体とさせていただきます。住民と企業とのコラボレーションによるこのような活動は、東京都では最初の事例なのではないかと思っています。これからも緑のある豊かな生活を、みんなで共有できるような活動をしていきたいと思っています。



森ビル株式会社
PM本部 商業施設事業部
ビル店舗運営室
主事 外構・ガーデニング担当
名取万理子さん

アークヒルズは、長きにわたるアークガーデニングクラブの活動などが評価されて、「第1回SEGES 社会・環境貢献緑化評価システム」で最高ランクの「Stage3」を取得しました。